

すその一るの状況

1. 導入の経緯

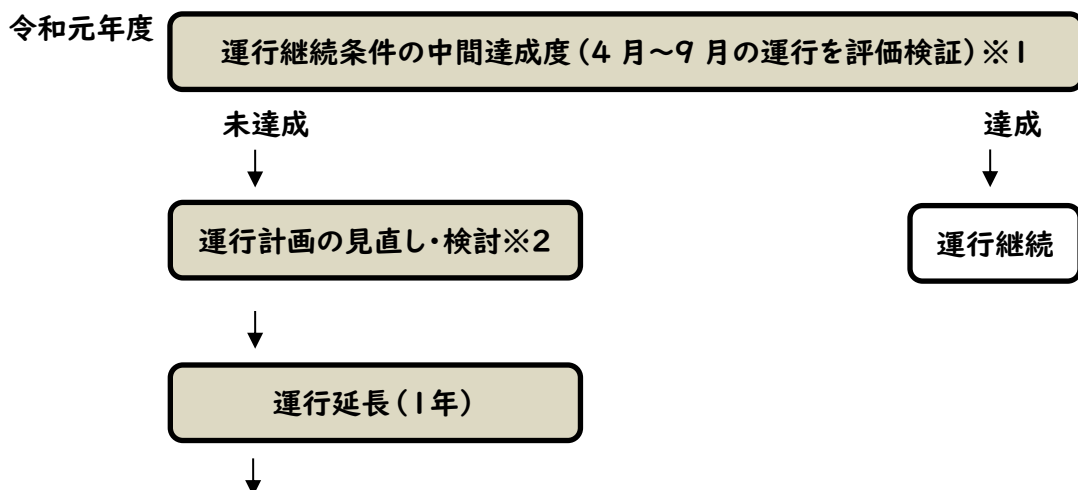
裾野駅を起点とする循環型の路線バスとして、平成20年11月1日に運行を開始。低運賃のバスに乗って裾野駅周辺に多くの人に来ていただき、中心市街地の活性化を図ること、路線バスの運行されていない地区にすその一るを運行することで公共交通の不便地域を解消することを目的としていた。

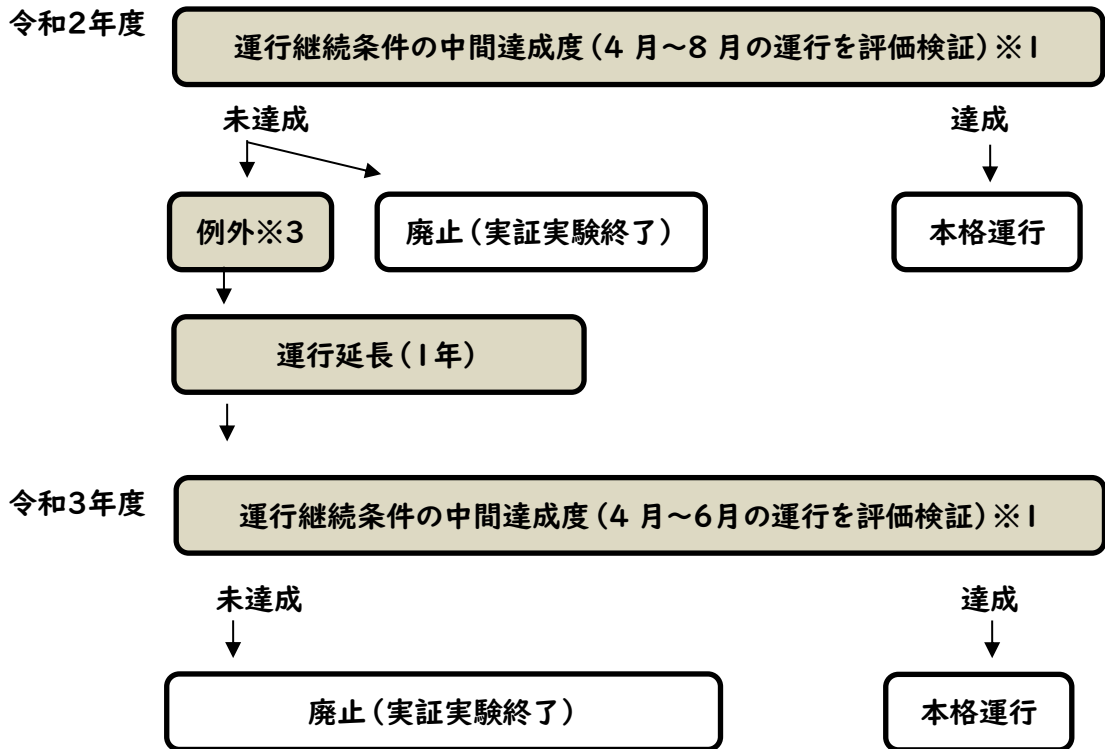
現在では、生活交通としての色合いが強くなっており、商店街や市役所、病院へ行くために利用している方が多くなっている。

2. 運賃と運行ルートの変遷

平成20年11月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 裾野駅を起点とする循環型の路線3系統で運行開始。 ○ 運賃は1人1回の乗車につき100円。70歳以上の高齢者、小学生以下の子供、障がい者、介護者や妊婦は無料。
平成24年4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運賃を距離により100円から200円の範囲へ改定。 ○ 高齢者や介護者、妊婦の運賃免除は廃止。小学生と障がい者は半額。 ○ 未就学児は引き続き無料。
平成31年4月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運行ルートを往復型3系統へ再編、運行開始。 ○ 運賃を距離により100円から300円の範囲へ改定。 ○ 土日の運行を廃止。

3. 見直しのスケジュールと現在地





※1 運行継続条件

収支率:20%(平成28年度:17.4%)

※2 運行計画の見直し・検討

運行改善(ルートやダイヤ変更、バス停新設等)を実施、利用促進策の実施

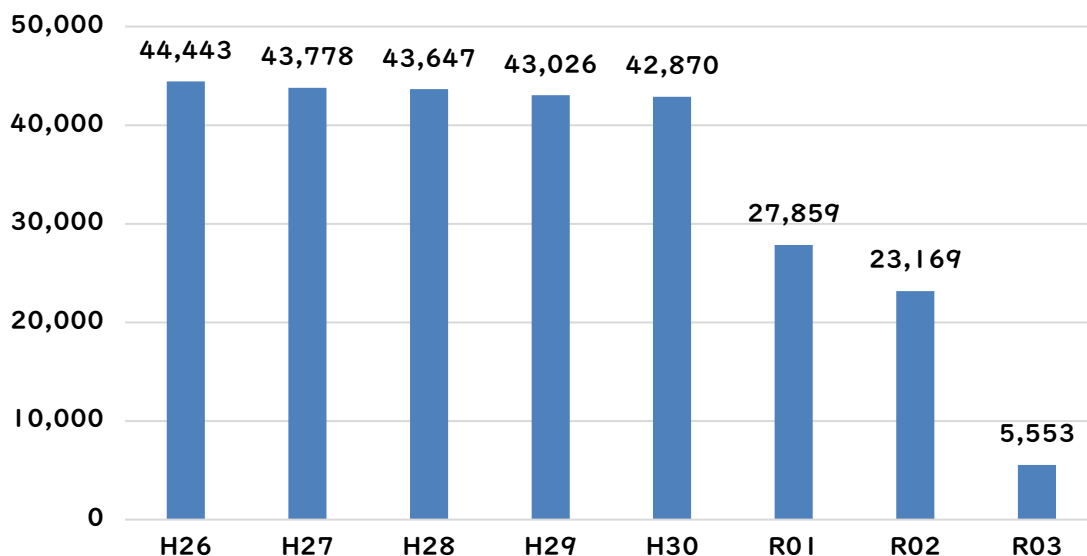
※3 例外

利用者が増加傾向にあり、運行期間を延長することで、運行継続条件を満たす見込みがある場合は、1年間継続する。

※ ルート変更等の大規模な運行計画の変更は9月に県生活交通確保対策協議会へ申し出が必要。

4. 利用者数の推移

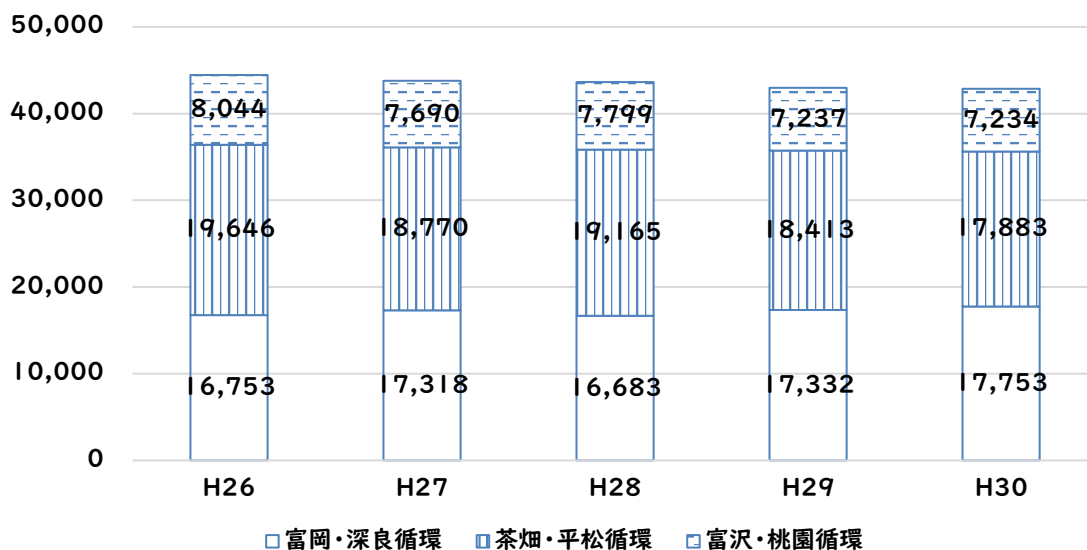
年間利用者数(単位:人)



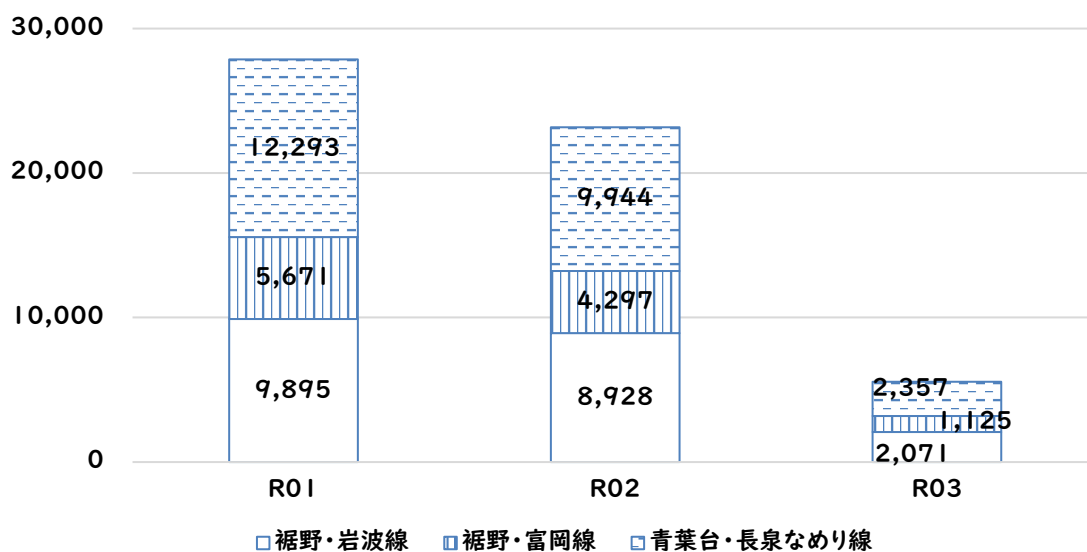
注) R01より変更後のルートでの運行開始。

R03の数值は4月~6月の実績値。

系統別利用者数(H26~H30、単位:人)

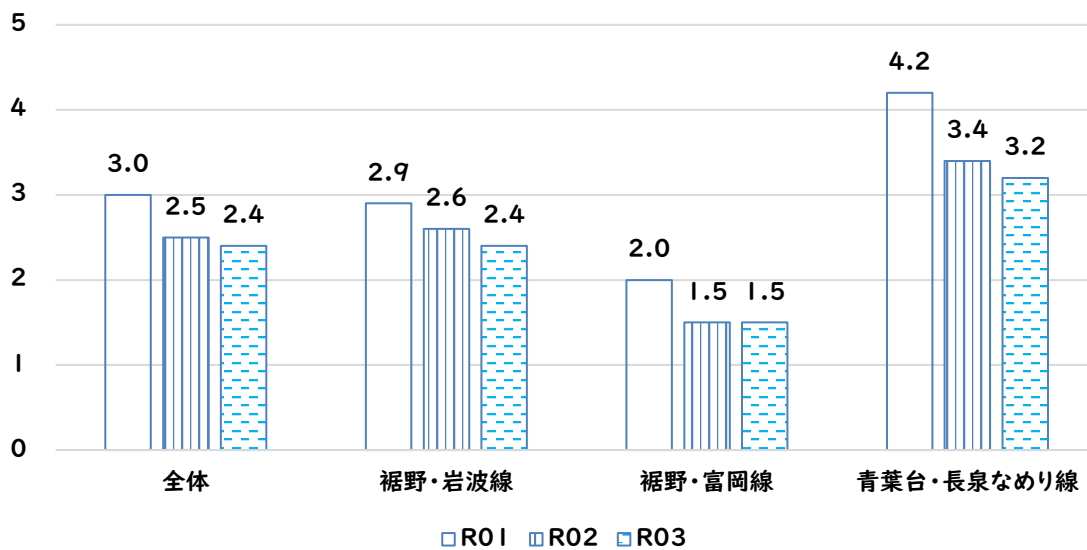


路線別利用者数 (R01~R03、単位:人)



注) R03の数値は4月~6月の実績値。

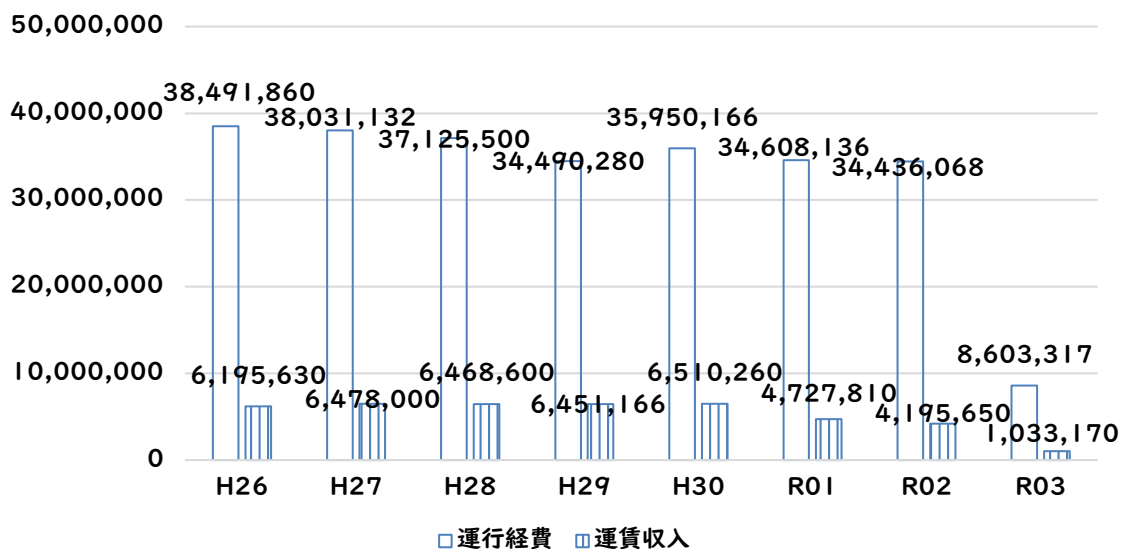
1便当たり利用者数 (R01~R03、単位:人)



注) R03の数値は4月~6月の実績値により算出。

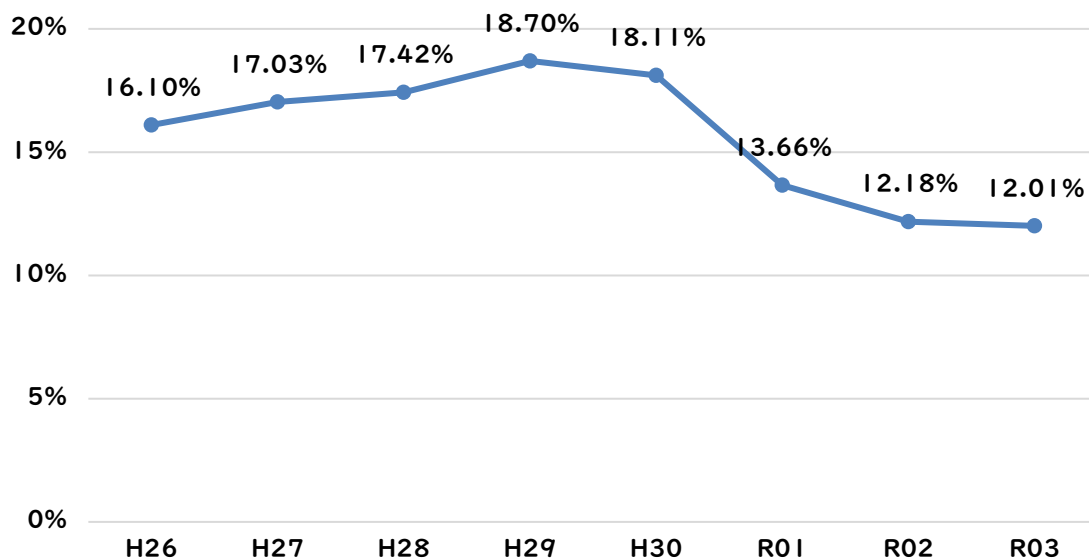
5. 経費と収支率

運行経費と運賃収入(単位:円)



注) R03の数値は4月～6月の実績値

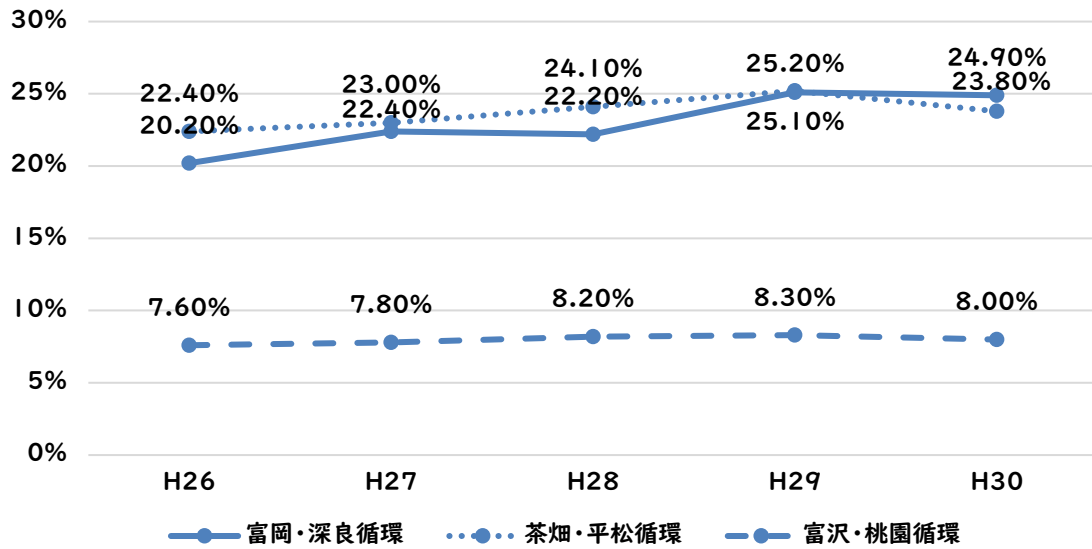
すその一る全体の収支率



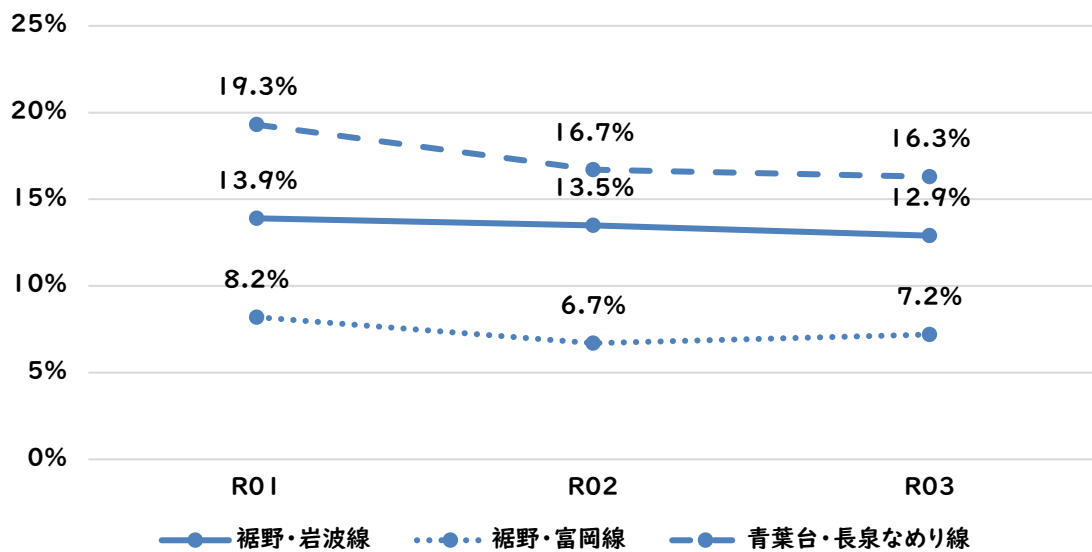
注) 収支率 = 運賃収入 ÷ 運行経費

R03の数値は4月～6月の実績値により算出

路線別収支率 (H26~H30)

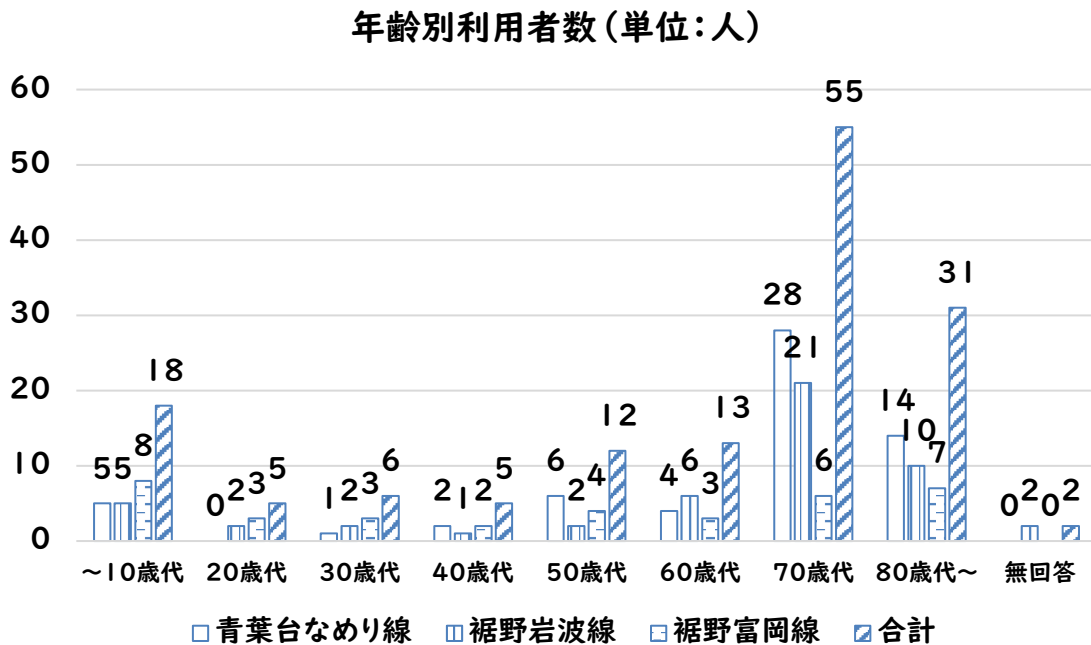
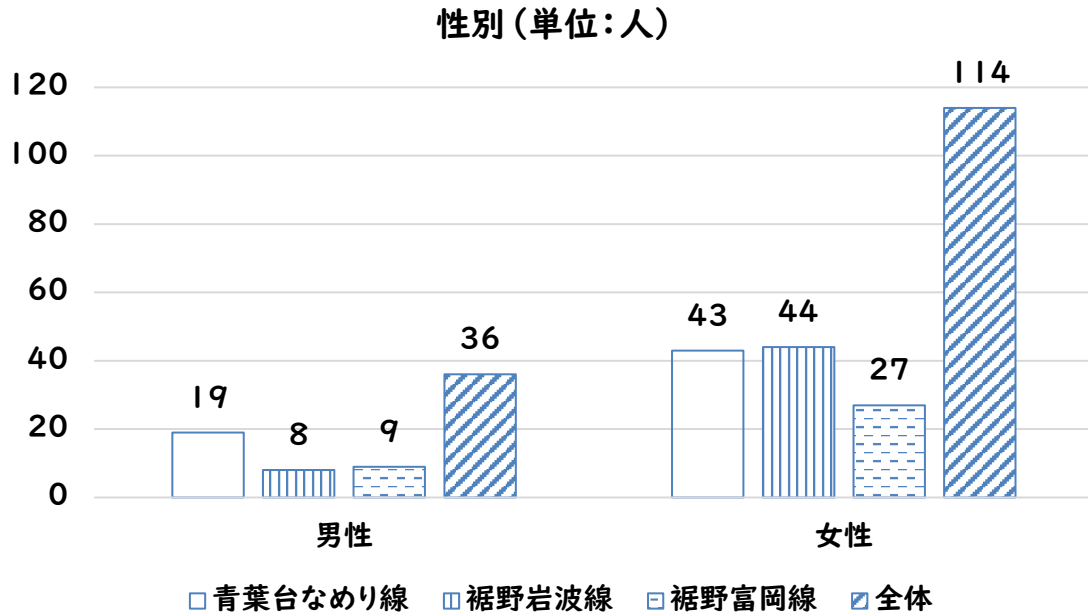


路線別収支率 (R01~R03)

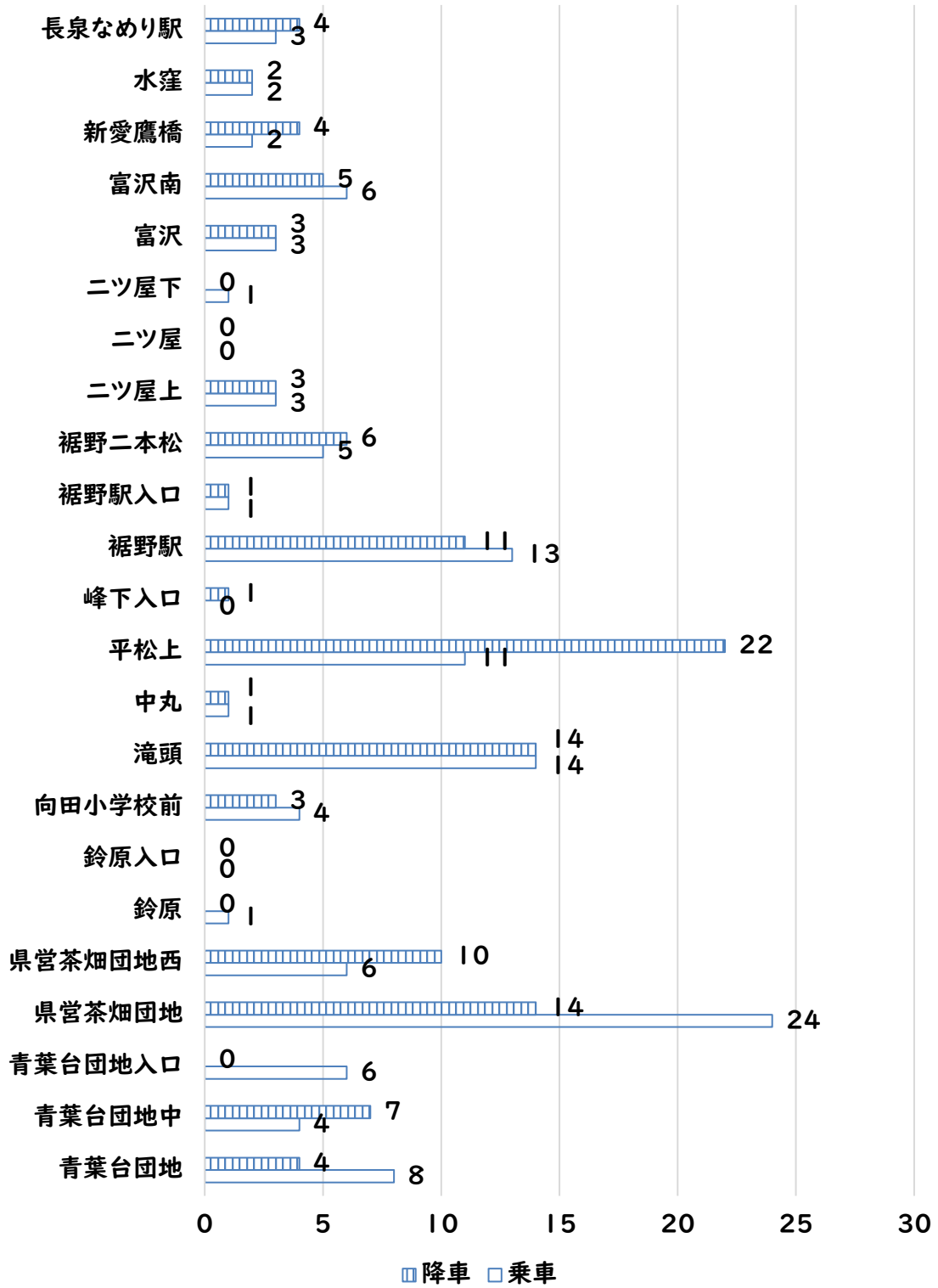


注) R03の数値は4月~6月の実績値により算出

6. すその一利用者に対する調査の結果



バス停別利用者数：青葉台長泉なめり線(単位:人)



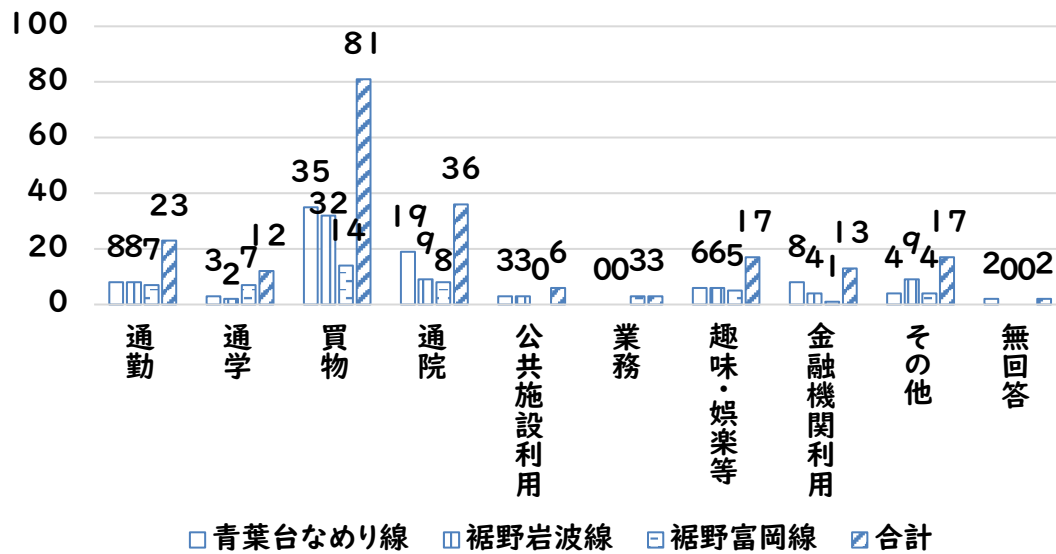
バス停別利用者数：裾野岩波線（単位：人）



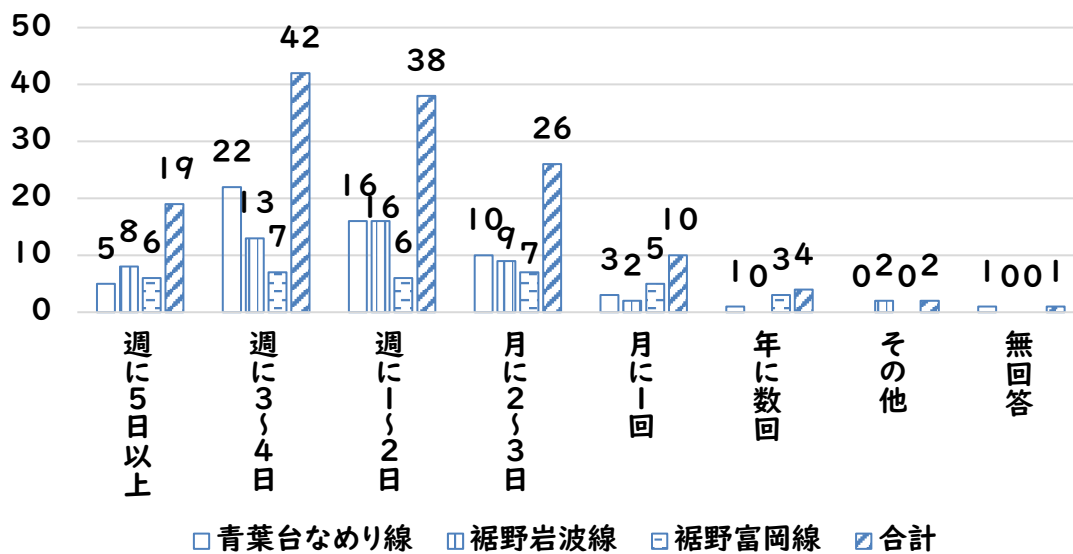
バス停別利用者数：裾野富岡線（単位：人）



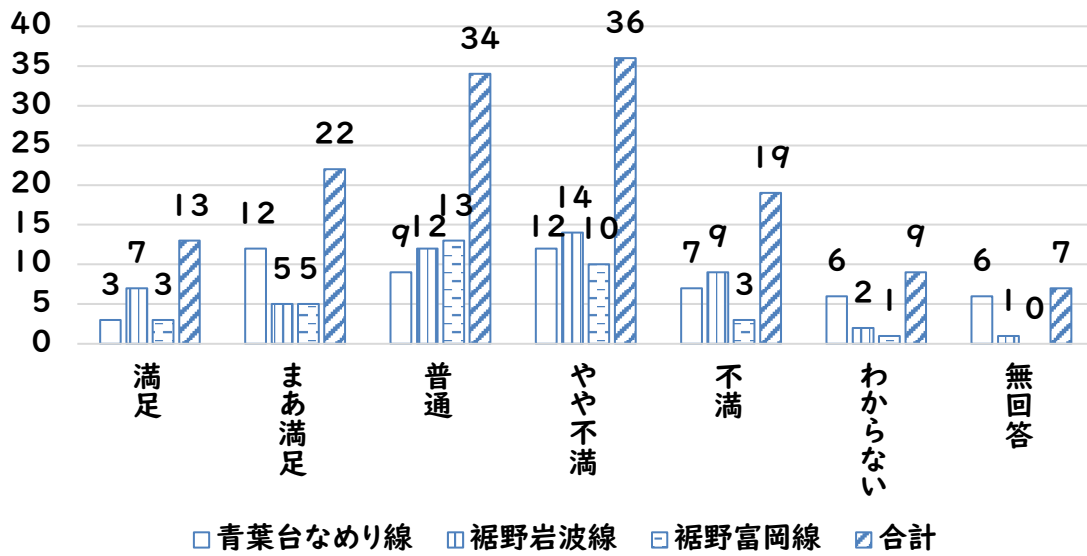
目的別利用者数(単位:人)



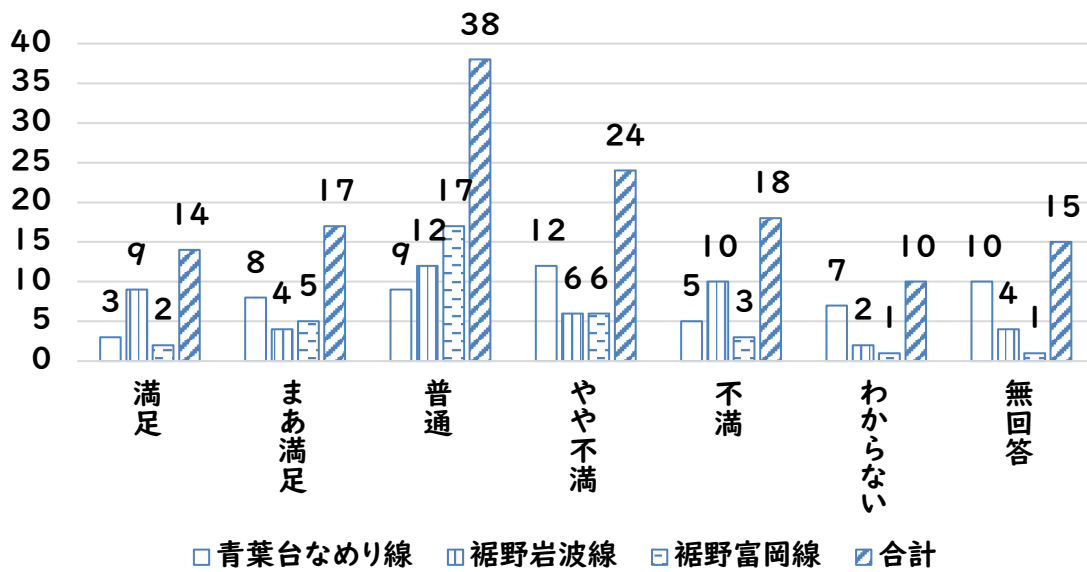
利用頻度別利用者数(単位:人)



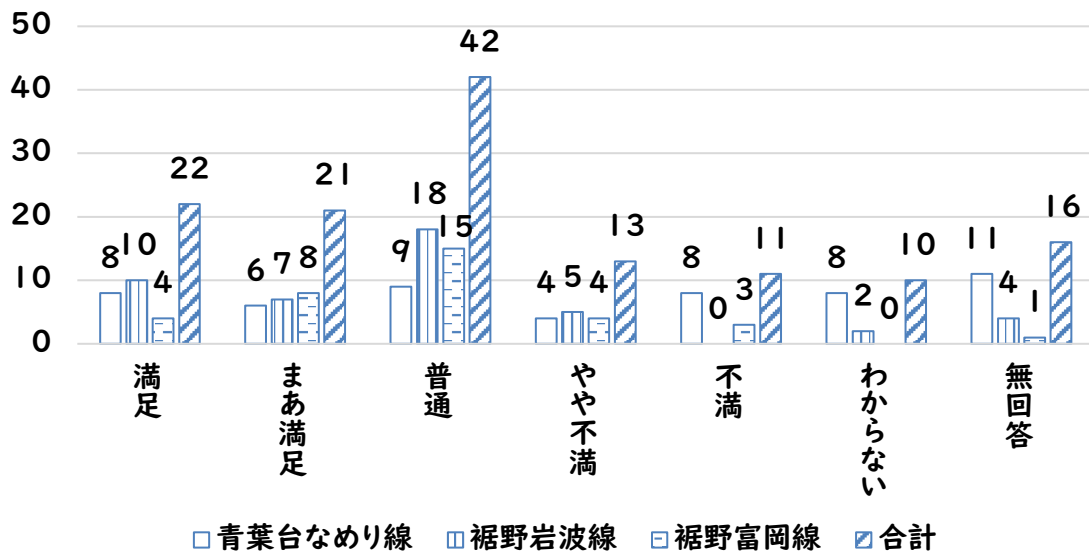
運行本数に対する満足度別人数(単位:人)



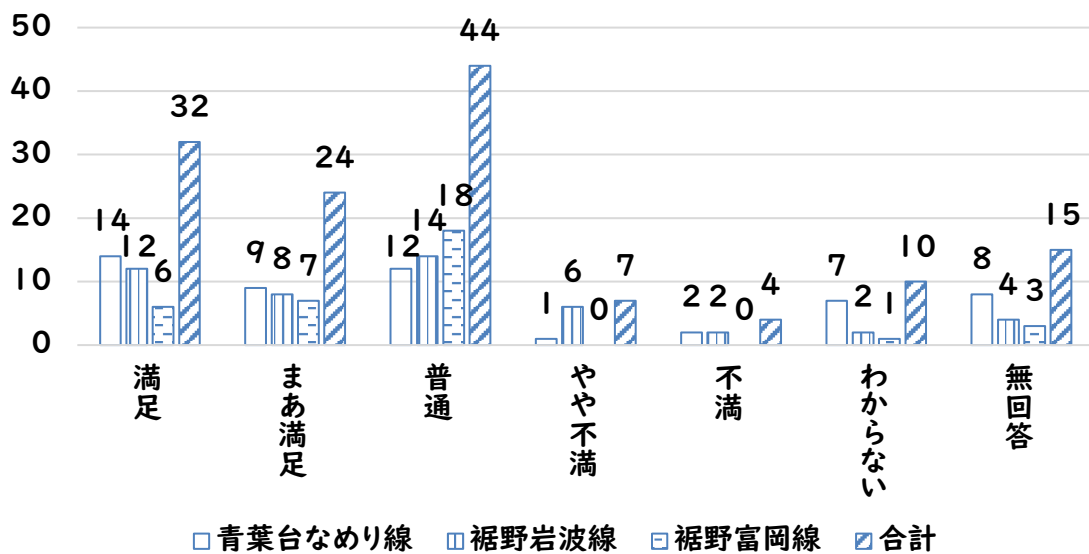
運行時間帯に対する満足度別人数(単位:人)



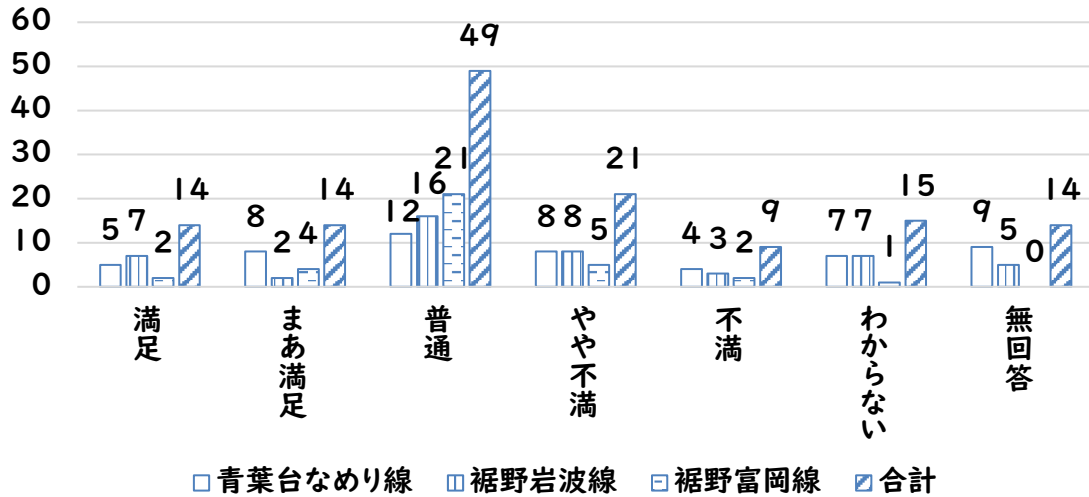
運行ルートに対する満足度別人数(単位:人)



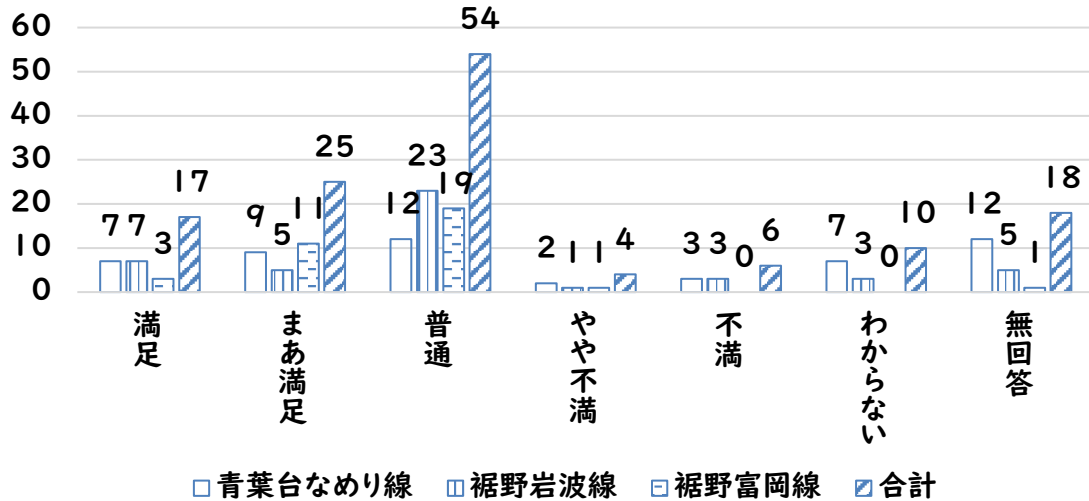
運賃に対する満足度別人数(単位:人)



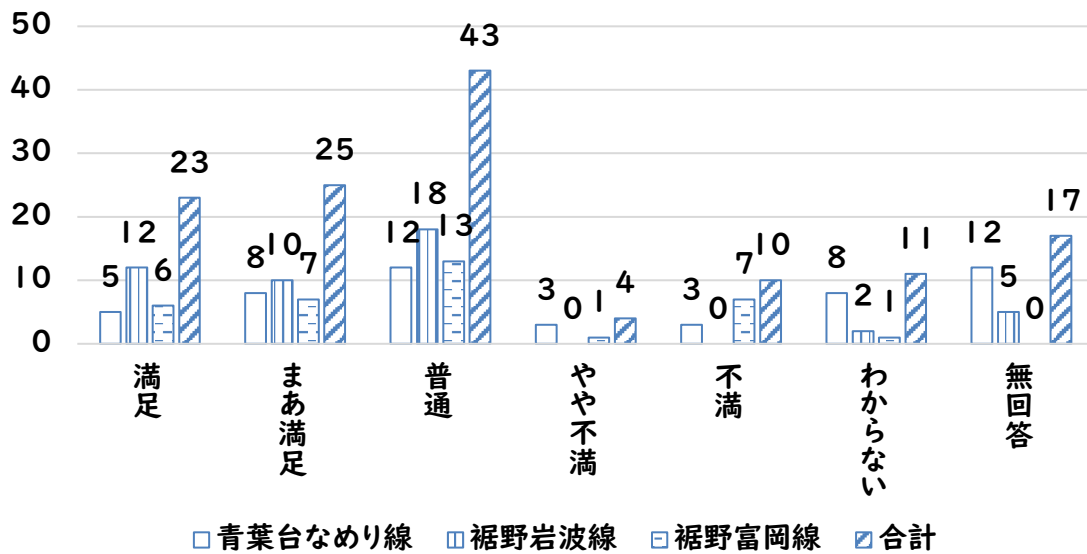
他のバスや鉄道との乗り継ぎのしやすさに対する
満足度別人数(単位:人)



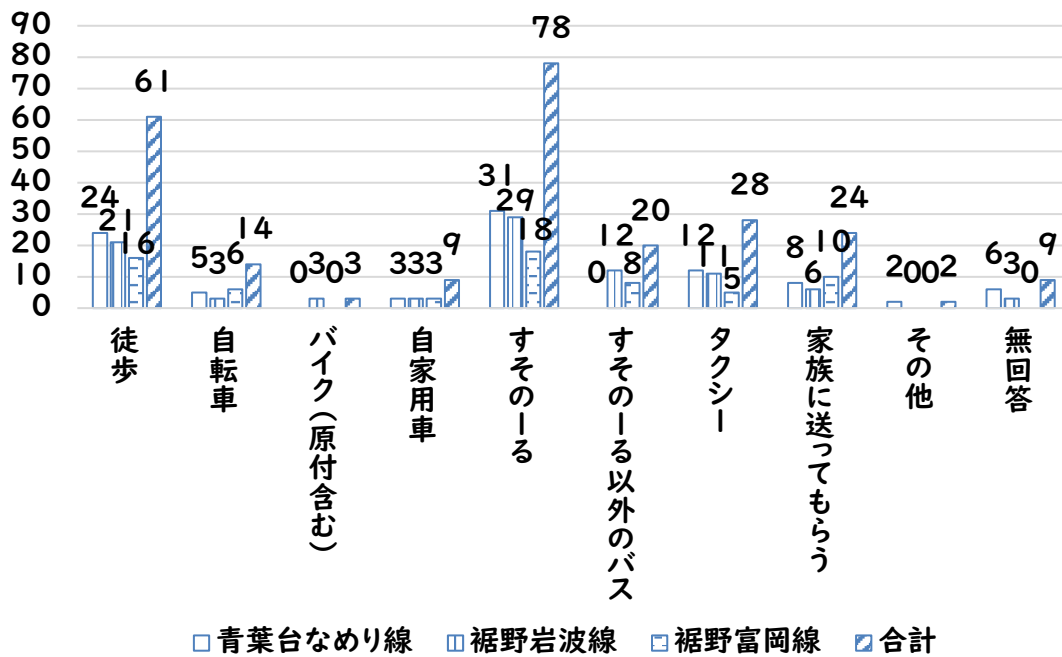
時刻表・路線図等の運行情報案内に対する
満足度別人数(単位:人)



全般のサービスに対する満足度別人数(単位:人)



外出する際の主な移動手段別人数(単位:人)



すその一るの必要性(単位:人)

